

立川市総合リサイクルセンターだより

～西砂からの風～

2021年12月号(第47号)

お問合せ：ごみ対策課
042-523-2111(内線6754)

今私たちが未来のためにできることを 考えてみましょう

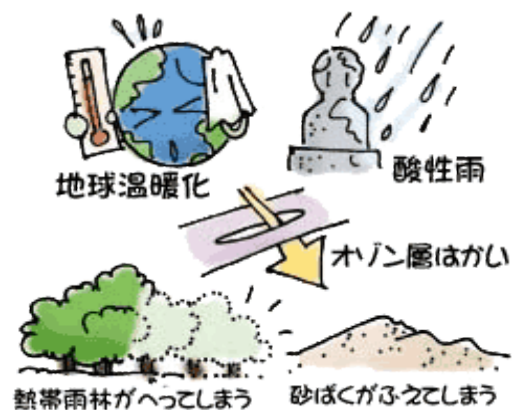
今私たちの暮らしは、とても便利になりました。この便利な生活を続けてきたことにより地球規模での温暖化が進み、様々な問題が発生してきています。

I】地球の現状

私たちは、普段の生活の中で車や電気・ガスを使ったり、様々な商品を生産・消費・廃棄することで大量の二酸化炭素(CO₂)等の温室効果ガスを生み出しています。

二酸化炭素がそのまま増え続けると・・・

- ①異常気象の発生の増加(干ばつや集中豪雨など)
- ②海の酸性化による生態系の変化(サンゴ・貝・甲殻類の生育に影響を及ぼします)
- ③森林火災の増加・森林消失・農作物への影響・絶滅危惧種の増加・島の消滅の可能性



II】限りある資源がなくなってしまう

森林・水・石油等の鉱物がこのまま使い続けると枯渇してしまいます。

III】ごみの行き場がなくなってしまう

大量生産・消費により発生したごみの日本全国の埋立地はこのままではいっぱいになってしまうと言われています。

行き場のなくなった廃棄プラスチックを日本は海外に輸出していましたが、2017年より最大の輸出国であった中国が環境汚染を理由にプラスチックごみの輸入禁止措置をとり、自国でリサイクルの必要性を認識しなくてはならなくなりました。



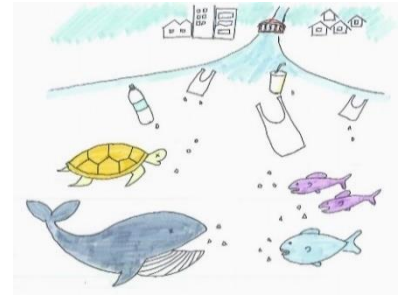
● プラスチックごみを減らそう！

特にごみ問題の中でもプラスチックは注目されています。

プラスチックは軽くて丈夫で長持ちするうえ、他の素材より安く作れるために世界中で溢れています。

しかし、その反面プラスチックは何百年かけても自然にはなりません。

半永久的に消えないごみになります。



2019年に国内で排出されたプラスチックごみは850万トンにも上ります。このうち材料や製品への再生利用は4分の1にとどまり、残りは焼却されたり、埋め立てられたりしています。

(2019年 プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況 マテリアルフロー図 一般社団法人 プラスチック循環利用協会 2020年12月発行より)

プラスチックごみは燃やすと二酸化炭素などの温室効果ガスを発生するため、気候変動の要因とも考えられています。

また、海で発生したごみ(漁業、海外のごみ)と陸で発生し、川から海に流れ込んでいる生活ごみの人工物の中でも、プラスチックの割合が一番多いといわれています。(環境省「海洋ごみをめぐる最近の動向」(平成30年9月)より)

ペットボトル、プラスチック(ペットボトル以外)、発泡スチロール、そして漁具などが海の生物の命を奪ったり、細かく分解され、マイクロプラスチック(直径5mm以下の大きさ)化し、そのプラスチックを食べた魚を食べる私たち(人間)への体への悪影響も心配されています。

● プラスチックを削減するための国の動き

そこで、日本国内ではプラスチックの資源循環をめざし、その削減に取り組もうとしています。

■ 2020年7月 レジ袋の有料化

環境問題解決の第一歩として、できるだけ無駄なレジ袋をなくすためにレジ袋を有料化しました。これにより70%の方がレジ袋を断るようになりました。

(環境省令和2年11月「レジ袋使用状況に関するWEB調査」より)



■ 2021年6月 『プラスチック資源循環促進法』の制定

この法律は、プラスチックごみの削減とリサイクルの促進を目的とする新たな法律です。製品の設計・製造からプラスチック廃棄物の処理まで包括的にプラスチック資源循環等の取組を促進するために制定されました。

2022(令和4)年4月から施行されます。

①設計・製造段階



プラスチック製品の設計 を環境配慮型に転換

- ①環境に配慮して設計や製造された製品を国が認定する仕組みを作成します。
- ②認定製品を国が率先して調達します。
- ③リサイクル材の利用への設備支援を行います。

②販売・提供段階



使い捨てプラスチックを リデュース

コンビニやスーパー、ホテル、クリーニング店、ネットショップなどに対し、無償で配られるストローやスプーンといった使い捨てプラ製品を減らすため、年間5トン以上使用する大手事業者に有料化や再利用などの対応を義務化します。

③排出・回収・リサイクル段階



排出されるプラスチックを あまねく回収・リサイクル

ペットボトルや食品トレイなどと一緒に今後は文房具や子どものおもちゃなども含めてリサイクルプラスチックとし、これらと合わせて一括回収を行うよう自治体を促します。プラスチックごみ回収の合理化の推進と、よりリサイクルしやすい環境整備が行われます。

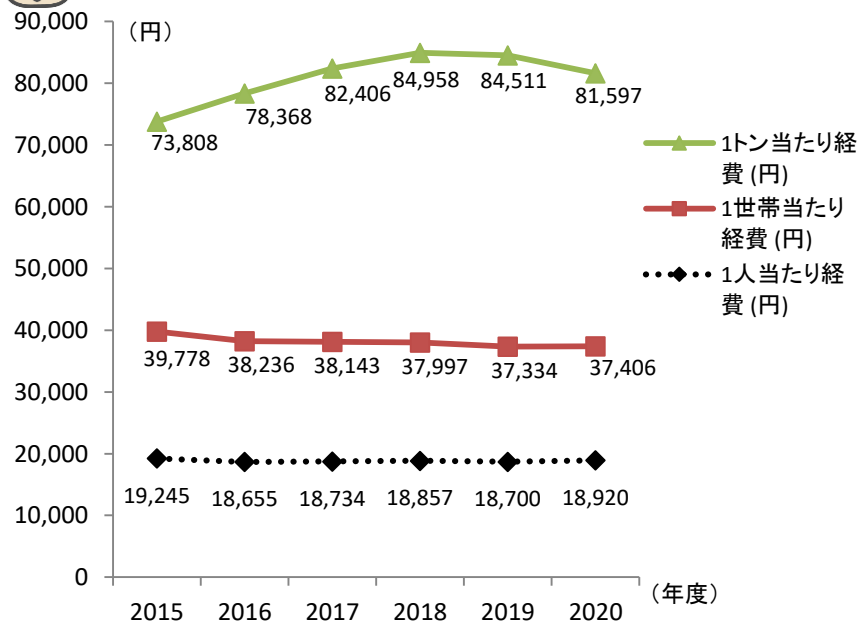


「不要なプラスチックは受け取らない」
「使い終わったプラスチックは正しく分別する」

立川市のごみ処理費用

ごみ処理を行うためには収集・分別・資源化・廃棄のために電気・燃料・水などの資源や、多くの費用がかかります。

R2 (2020) 年度ごみ処理費用は34億8,957万円で、年間1人あたり18,920円になりました。



● 2Rを実行しよう！

立川市では

「未来へつなごう ごみをつくらないライフスタイル」

を合言葉に、2R (Reduce、Reuse) を推進しています。
リデュース リユース

Reduce (リデュース) = ごみを減らす

- ☑ マイバッグ・マイボトルを利用する
- ☑ 必要以上にものを買わない
- ☑ 食べきれる分だけ調理する
- ☑ 生ごみの水切りを徹底する



Reuse (リユース) = 繰り返し使う

- ☑ 詰め替え商品でボトルを再利用する
- ☑ リサイクルショップ等を活用し、
まだ使えるものを必要な人に譲る
- ☑ こわれたものは修理して大切に使う



ごみの減量・分別・リサイクルに
ご協力ください♪

